

サポート

NO. 130号

平成28年5月2日発行

県教育庁特別支援教育課 指導班



「心が動く、心を動かすということ」

特別支援教育課 課長 小林 司

先日TVを見ていたら番組の中で「さかなクン」が小学生を前にサメの説明をしていました。

「サメはどうして『サメ』というのでしょうか？」

「答えは目が小さいからなんですね。小さい目と書いて『小目（さめ）』と読むんです。ギョギョギョ！」

いまいち小学生のノリはよくありませんでした。

さかなクンがそのあと「それじゃあ、本物を見てみましょう」とホワイトボードの陰に動くと、小学生たちがざわめきました。「えっ、えっ」「ほんもの？」

さかなクンがサメを両手に抱えてホワイトボードの陰から現れると、小学生から歓声があがりました。身を乗り出してサメを見ようとする姿がありました。

「これがサメさんの目です。小さいですねえ」

「ちっちゃ〜！」小学生の反応が俄然よくなりました。

何が小学生の心を動かしたのでしょうか？

本物のサメの登場でしょうか。さかなクンの話術と段取りの上手さでしょうか。

このような学びの場面が散見される学校は、きっと魅力的な学校でしょう。

さて、この4月1日から県立特別支援学校の名称を変更しました。養護学校という名称の知的障害特別支援学校は「支援学校」に統一し、盲学校は「視覚支援学校」に、聾学校は「聴覚支援学校」となりました。また、分校については、地域の学校としての役割を意識して「比内支援学校かづの校・たかのす校」、「大曲支援学校せんぼく校」という名称になりました。大曲支援学校せんぼく校は角館高等学校定時制課程と隣接する形で新校舎として今年度開校しました。

校名変更を機に、地域の方々との日常的な交流活動を一層進めるとともに、地域資源や地域の人材を生かした学習活動を展開し、さらに魅力ある学校づくりに向けて取り組んでいきたいと思います。



平成28年度特別支援教育課紹介

課 長 小 林 司

【指導班】

018-860-5135

副主幹(兼)班長	佐藤 博司	(指導班総括)
主任指導主事	阿部 純一	(計画・要請訪問、第二次総合整備計画他)
主任指導主事	近藤 千晴	(教科書・学校図書、就学事務関係他)
指導主事	佐藤 圭吾	(生徒指導関係、産業教育関係他)
指導主事	高田屋 陽子	(特別支援学校教育課程、授業改善プロジェクト他)
指導主事	小山 高志	(キャリア教育・進路指導、新採者研修他)
指導主事	北島 英樹	(10年経験者研修、早期からの教育相談・支援体制構築事業他)
指導主事	中村 素子	(初任者研修、センター的機能他)

よろしく
お願いします

【管理班】

018-860-5133

副主幹(兼)班長	高橋 謙
主任管理主事	渡部 透
管理主事	熊谷 司
管理主事	伊藤 潤
非常勤職員	福司 佳子

【調整・企画班(兼高校教育課)】

018-860-5161・5162

主幹(兼)班長	保坂 一美
副主幹	判田 咲子
副主幹	清水 康成
主査	内田 隆仁
主査	斎藤 幸生
主任	伊藤 恵子
主事	伊藤 激己

でんしん
伝心

各校の子どもたちの頑張りや活動、各校の実践などの真心を伝えるとともに特別支援教育の理解と広がりを支援する「伝心」のコーナーを今年度新たにスタートします。第1回目は、この春開校した「大曲支援学校せんぼく校」の紹介です。



【校舎全景】

木材がふんだんに使用された木の香りが香る校舎。体育館は、角館高校駒草校舎と共用しています。敷地内には、天然記念物のしだれ桜もあります。

【玄関アプローチ】

開校をお祝いして、地域の方が手作りの花の苗をプレゼントしてくれました。地域の中で、多くの方々に支えられています。



【玄関ホール】

玄関ホールには、仙北市の春をテーマにした、児童生徒手作りの壁画と行灯が飾られています。